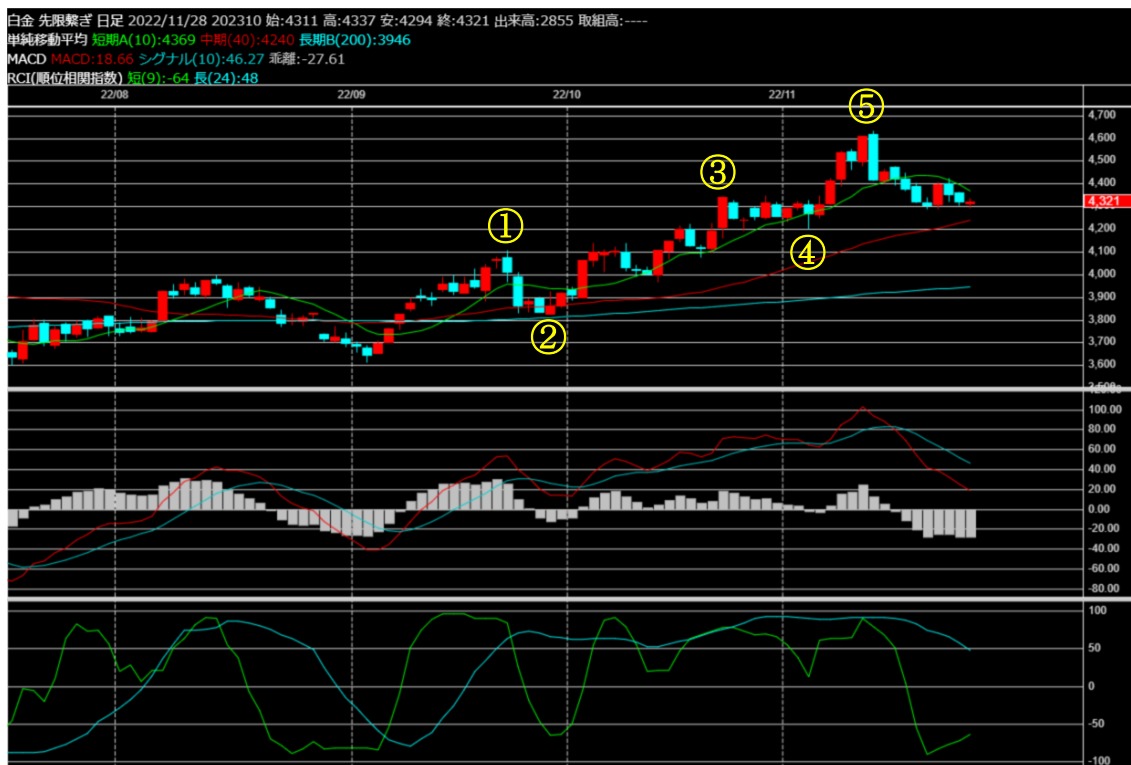


<白金標準先物、0.382 の修正で 4243 円の見極め・・・>



(出所：オアシス)

WPIC 第3四半期 PGM 需給報告では、2023 年の世界のプラチナ需要は 19%増加し 242 トンになる一方で供給の伸びは 2%に留まり 232 トンになるため、市場は 2020 年以来の 9 トンの供給不足になると予想している。また第2四半期に指摘した 2022 年の 30 トンの余剰在庫は、供給の制約に加え地金およびコインへの需要が増加したため 25 トンへ下方修正を行っている。そのため 2022 年の余剰から 2023 年は不足へ市場の需給バランスの大きな転換は 31 トンを超えると予想されている。

しかしインフレ高の悪影響から欧州自動車工業協会が発表した 10 月の新車登録台数は前年同月比で 8.5%減少、1 月～10 月では 16.8%減少している。特に中国の新規感染者が 4 月の上海市のロックダウン時の 29000 人を超える 3 万人になるなど、厳格な感染対策を引く中国の景気減速懸念が高まりを見せている。

そのため白金標準先物は 4633 円で 5 波動を終えて修正波動へ移行した状況であり、5 波動の上昇幅である 1019 円の黄金比の 0.382 で 4243 円への調整安が予想され、今週に中国要因で直近の安値 4287 円を下回った場合には注意が必要と思える。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD は **MACD** と **シグナル**が下げており、RCI でも**短期**が切り上げているが**長期**は下げだすなど、8 月時におけるピークアウト以降の動きに類似したオシレーターを示すなど、日足は **40 日移動平均線**が位置する 4240 円へ向けた下値追いが妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,210,000 円(2022 年 11 月 28 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 37,620 円(2022 年 11 月 28 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>